

第3回
多可町生涯学習まちづくり委員会

会議録

《概要版》

事務局 多可町生涯学習課

■会議の経過

<p>次第 1</p> <p>(座長)</p>	<p>開会</p> <p>座長あいさつ</p>
<p>次第 2</p> <p>(A委員)</p>	<p>委員プレゼンテーション</p> <p><プレゼン⑦ A委員></p> <p>1983年生まれの39歳で、多可町生まれ育ち、大学以外は多可町で育っています。大学を出てすぐに帰ってきて〇〇商店で働きました。</p> <p>結婚して5年ほどは西脇にいましたが、2年半前に帰ってきました。〇〇商店というところで今は代表取締役を3年ほどやっています。去年は多可町商工会青年部の部長をさせてもらっていました。</p> <p>生涯学習まちづくりプラザということで、学びの広場、交流の広場、表現の広場ということで考えてみたのですが、それぞれ重なるところが多いなと感じました。</p> <p>いろいろ考えてみたんですけど、あんまり収集つかなくなったので、自分のことで考えてみました。昔、バンドをやっていたんですけど、若い時、中学生や高校生の時って音楽とかバンドをやってる子ってけっこういたけど、今はほとんどいないらしいです。そういう音楽に触れる機会も無いし、練習できるような場所も無い。また練習しても発表するような場所も少ないと感じていて、昔、音楽やってたような人を募って教室をしたり、音楽イベントを計画したりして、いろんな年代の人が交流して学んで表現できるような場所になればいいなと思いました。音楽じゃなくても「昔、こんなんしてました。」みたいなことが生かせるようなところから、学びや交流が生まれたいなと思いました。</p> <p>3年ほど前に多可町、西脇市出身の人達のバンドを呼んで、ベルディーホールでイベントをしました。ベルディーホールは非常に良い施設ですが、けっこうお金かかるし、人を呼ばないとあかんし、むちゃくちゃたいそうで採算がとれない。僕らもベルディーホールの人に「そういう人達を呼んでできへんかな」と頼まれてやったんですけど、企画する方もなかなかしんどいなと思いました。もっと気軽にできて、集客できるような場所になるといいんじゃないかと思いました。</p> <p>あと、あまり図書館の利用はしたことがないんですが、アプリやサイトでどういう本があるかとかいうのを簡単に調べられたらいいなというのと、本を借りてカフェに行ったら50円引きされるとか、そのカフェがスタバだったら用事なくても毎日本を借りに行くとか、そういう図書館と周辺施設の連携ができれば、双方に利用者が増えていくんじゃないかなと思いました。</p> <p>あと、女性がワークショップや習い事、企画などに参加されるときに、小さいお子さんがいたら、ネックになってくると思うので、子どもと一緒に学べるような企画があったらもちろんいいんですけど、安心して預けられる託児があったらうれしいし、女性が学ぶ機会損失を減らせるんじゃないかなと思います。また、町外からの参加も増えるのではないかというふうに思いました。</p> <p>いろんな方が関わっていく仕組みができれば利用者も増えるし、自然と学ぶ機会、交流する機会、表現する機会が増えると思います。</p>

(B委員)

<プレゼン⑧ B委員>

こんばんは。私は多可町図書館の図書館協議会からこの会に参加させていただいています。「お話サークルあいあい」というグループで図書館のボランティアをしています。「お話サークルあいあい」は、幼い子ども達にお話会、ストーリーテリング、絵本や紙芝居をしています。また、小学校や多可高校に特別非常勤講師として行き、読み聞かせのお手伝いや指導をしています。

私はその図書館の開館と同時にボランティアに入って、その中で、児童サービスの活動をずっとやってきていますが、図書館へ来てくれる小さいお子さんが年々減ってきています。0歳の子か1歳、2歳の子どもを連れた若いお母さんが来てくれる程度で、なかなか図書館を利用してもらうということの裾野を広げられていないというのが現状です。若いお母さんが子どもを連れて来やすい場所になるにはどうしたらいいのかなというのが悩ましいところです。

多可町図書館では、神戸とかいろんな地域から先生に来てもらって、絵本の勉強やストーリーテリングの勉強会というのを図書館でもらっています。多可町図書館で勉強会をしたりしたら、20人とかくらい集まります。その中には私たちのグループ以外の方もいらっしゃり、小野市や加西市の方からも来てくださるので、学びの場であると同時に、そういう方たちとの交流の場にもなっています。

私は図書館のボランティアをしています。本の虫とか本が大好きとか言うほどではないんです。本も好き、いろんな好きなことがあって、町のコーラスのグループにも入って歌も歌っています。いろんな好きがあって、その中の一つに図書館のボランティアをしているという感じなんですけど、私にとって図書館というのは魂の癒やされる場所だと思っています。

皆さんは将来の夢はありますか。私は高校の時から友達がいるんですけど、その友達と将来の夢について語ったときに、その友達が「やまんばになりたい」と言っていて、それとつてもいいなと思って、私も将来やまんばになれたらいいなというふうに思っています。

(C委員)

<プレゼン⑨ C委員>

こんばんは。これまで私は仕事上のスキルアップにつながるであろう子育てや特別支援教育に関することを単独で学んできました。継続した学びから生涯学習コーディネーターにたどりつき、生涯学習コーディネーターの資格を取得しようと思立ちました。今回、多可町生涯学習まちづくり委員会に参加させていただいていることをとても光栄に思っています。私的な目線にはなりますが、住民の皆様が利用しやすいと感じられるプラザの建設の際の要望と利用する際の案を精一杯考えました。

建築に当たって真っ先に考えた事はバスを利用して来られる方、駐輪場、駐車場を利用される方、いずれもが雨に濡れることなく建物の中に入ることができる屋根付きの歩道が欲しいということでした。また、パソコン利用者には、操作中のキーボード音や背後を行き交う人を気にしなくてもいい空間が必要だと考えました。リモート会議、リモート授業に対応できるワークスペースはパーソナルスペースを広くとってほしいと思います。キッズスペースは託児を視野に入れてください。託児は会議やサークル活動に参加する方の利用だけでなく、ファミリーサポート事業の夜間預かりにも対応できるようにしてほしいと考えます。ミニコンサートや子ども

関連の表彰式ができるちょっとしたステージがあればうれしいです。以上、設計上の前段階としてぜひ検討を加えてほしい内容としてあげさせていただきました。

次に、交流の拠点としてのプラザの活用案を考えました。生涯学習まちづくりプラザの基本理念にそう施設利用の魅力は、気兼ねなく立ち寄れること、誰でも集い語らうことができること、思い立ったときに利用できることだと考えます。子育てふれあいセンターでの遊びの帰りや、アスパルで汗を流した後に穏やかな時を過ごすことができたらいいですよね。また、たまに覗くと何かやっているって、ワクワクして楽しいと思いませんか。音楽室のピアノも、年に1、2度、調律のタイミングで、ホールに設置し開放することで、誰でも弾くことができるストリートピアノの設置があればいいなと考えます。ピアノの開放は特別感を打ち出すために常設ではなく期間限定がいいと思います。またホールを活用した町民主体のイベントや、日替わりシェフによるお弁当販売もあればうれしいです。生涯学習プラザは情報の発信も担っています。「こんなことやります」、「やっています」っていう皆の掲示板。アナログな情報発信な方法ですが設置してみてもどうでしょう。新聞やテレビの取材で多可町が取りあげられることが少なからずあります。その放映の情報をぜひ皆で共有できたらいいいなと考えています。先日もあったようですが、おじいちゃんおばあちゃんの絵画展の様子がNHKのニュースで取りあげられたそうですね。私自身は見ておらず、後で放送されたと聞いてとても残念でなりません。大型スクリーンをホールに設置するのもいいかもしれません。

最後に図書館への要望ですが、月曜日の開館をぜひお願いしたいです。土曜参観や運動会、オープンスクール明けの月曜日に図書館が閉館されていることをずっと悔やんでいました。ぜひ月曜開館の実現をお願いします。

以上、私の考える「あったらいいな」をいっぱい詰め込んできました。

(D委員)

<プレゼン⑩ D委員>

皆さんこんばんは。多可町青年団から来ました〇〇と申します。年齢は30歳です。高校を卒業して芦屋の方で〇〇職をしていたんですけども、現在は結婚して東加古川に住み、多可町の会社に勤めています。昨年、青年団の団長をしていて、生涯学習課の梅田さんに誘われ、この会議に参加させていただいています。

僕も中学校の時にバンド活動に興味を持ったんですが、当時は中町中学校の裏のいきがいセンターや西脇のスタジオとかで練習をしていました。しかし、それらが無くなってしまったため、遠所に行ったりして練習してたんですけど、それがすごく残念で、新しい施設は、そういった練習できる場所、子ども達がいろんな分野のことを体験できるような施設になればいいなと思いました。

あと、前回のグループディスカッションで、多可町にはたくさんのクラブ活動があつてそれを増していけたらいいなっていう話でしたが、そういったグループを僕も知らなかったの、いろんな人にそういったクラブ活動を知ってもらえるような、またその子ども達もそのクラブ活動の内容とか理解できて交流できるような施設になればいいなと思いました。

また、小野の図書館とかよく行きますが、小野の図書館にはコミック本とかあります。今人気の漫画「ONE PIECE」とかなんですけど、それを子ども達がすごく喜んで読んでいるところをよく見かけます。多可町の新しい図書館にも、お金はかかるかもしれないですが、コミック本があつたら、子ども達も喜んで来やすいのかな

と思いました。

(E委員)

<プレゼン⑩ E委員>

こんばんは。自己紹介からさせていただきます。私は2004年に結婚しまして、中区森本に来まして自宅でピアノ教室を開き、今年で丸18年になりました。最近になって図書館司書という仕事に興味を持ちまして、現在通信大学で資格を取るための勉強をしております。これまでほぼ子育て中心の生活を送ってきましたので、こうして大勢の方の前でお話することも本当に緊張しております。5分お話ししないといけないと言われてすごいしゃべらないと行けないと思って練習してみたら5分以上になってしまっていて言いたいことだらけなんですけれど、チンが鳴っても続けさせていただきますが、よろしくをお願いします。

私の希望は今も申し上げたとおりたくさんあるんですけども、大まかに言いますといろいろな人が様々な理由で訪れるこのまちづくりプラザという施設がいろんな人の我が儘に対応してくれる場所であってほしいと思っています。希望は3つあります。1つは子ども向けばかりでなく親世代やシニア世代も楽しい空間にしてほしい。2つ目が多可町の健康水準、文化水準を上げる施設にしてほしい。3つ目が多可町の良さを感じさせる建物であってほしいということです。

それぞれ説明をさせていただきますが、1つ目が子ども向けばかりでなく親世代やシニア世代も楽しい空間にしてほしいです。「子育てするなら多可町」というキャッチコピーがありますので、もちろん子ども達がいろんなことに興味を持って、様々な体験をできるような施設になってほしいなと思います。そして、その子ども達が大きくなって、多可町や広い世界で活躍してくれたらうれしいです。でも、子ども達が羽ばたいていくためには親が元気でなければいけない。これからの多可町を発展させるのは若い世代ですけども、その若い世代を育てる人々が元気でいきいきと楽しく気持ちにゆとりがある生活を送っていたら、子ども達はそれを見ていろいろ感じると思うし、学ぶと思います。ママが忙しい毎日でも時間を見つけて図書館で勉強していたりすれば、いつになっても勉強できるんだなと思ったり、おじいちゃんが歩けなくなっても車いすでパソコン教室に通っていたら、できなくなることがあっても新しく挑戦できることがあるんだなとか、そういうふうだと思うんです。なので、親世代シニア世代の方々が健康で幸せと感じる生活が送れるようにする、その手助けができる施設になってほしいなと思います。

2つ目の多可町の健康水準、文化水準を上げる施設にしてほしいということですけども、人にはいろんな感情があります。うれしいとか悲しいとか寂しいとか。ここに来る人達も元気なときもあればしんどいときもあって、それはすごく難しいことだとはわかるんですが、いろんな人に寄り添ってくれる場所であってほしいなと思います。どんな気持ちの人が訪れてもどこかに居場所のある空間があってほしい。例えば、一人になりたいとき、誰にも会わずボーッとできる場所。図書館に押し入れみたいな席があってもいいと思うし、そこで寝ころがって本を読んでもいいと思うし、窓に向かって外の景色を眺めてこっそりお茶が出来るカフェがあつたりすると私はうれしいです。カフェはスタバが来てくれると、先ほどもおっしゃってましたが中高生もすごく喜ぶと思います。それから逆に友達とおしゃべりたい時とか、先ほどもおっしゃってましたがバンドの練習とかダンスの練習がしたい時に空いていればいつでもわいわい出来る屋根のある空間とか、コロナだったり不景気

だったり悩むことも多い時代なので、ストレスが発散できる場所だといいなと思います。悩み相談室も気楽に入れるようにしたいです。気兼ねなくふらっと来て話を聞いてもらってスッキリするとか、体操教室とか体力的なことも大事なんですけど、心の健康にも役立ってほしいと思います。先日、アントニオ猪木さんが亡くなられましたけれど、引退試合を終えた後の名言というのをテレビで拝見しまして、「人は歩みを止めたとき、そして挑戦を諦めたとき、年老いていくのだと思います」という言葉。私も本当にそうだなと改めて感じましたが、どの世代の人にとっても趣味というものは人生を楽しく豊にしてくれると思います。特にシニア世代にとっては健康を維持するためにとっても大切なことです。いただいたまちづくりプラザの基本計画の資料編の最初にある生涯学習のアンケートの結果を見ても、生涯学習とは趣味や教養で良い人材を配置して、教室や講座の充実をしてほしいと望んでおられる方が多いことがわかりました。新しい習い事を始めたい方はたくさんいらっしゃると思うんですが、やっぱり始めるには勇気がいります。子どもに習い事をさせたいとなったら最近スマホで検索したりということが多いと思うんですけど、大人になると教室を探すことも体験を受けることもすごい勇気がいります。そうこうしているうちにどんどん億劫になってしまって、「もういや。こんな歳で今更」なんてことになりかねません。私も4、5年前にお習字を始めたい。のし袋をきれいに書けるようになりたいと思ったんですけど、やっぱり普通のおうちとかで教えてらっしゃる先生の所に行くのはすごい躊躇しまして、今は無くなっちゃいましたけど、加西のイオンにあった神戸新聞の文化センターで始めました。試しに1回だけレッスン受けてみようかなとか、よかったけど続けられるかどうかわからないからとりあえず3ヶ月だけやってみようかなということができたので、とても気楽に始めることができました。この「気楽でちゃんとしたことが学べる」ということがポイントだと思います。食べ物でも初めて食べたときに美味しかったらまた食べようって思うんですけど、最初美味しくなければ食べないと思うんです。なので、最初に初心者だから趣味だからこれくらいでいいだろうじゃなくて、最初にきちんと教えてもらえたら、またもっと学びたいなって思うようになると思うんです。これが私の健康水準、文化水準を上げる1つの提案です。

3つ目、多可町の良さを感じさせる建物であってほしい。多可町がやはり緑豊かなまちですので、窓が大きくて山々や緑が臨めるように、そんな窓の大きな建物になってほしいなと思っています。現時点で建設予定地は子育てふれあいセンターの隣になっていて、児童公園の大きな木が見えるのでいいなと思うんですけども、あの辺は川が近くてハザードマップを見ても浸水する可能性がないとは言いきれない場所になっています。その辺りのことを考えて、平屋ではなく2階3階建ての建物にしたほうが図書館もありますのでいいのではないかという気がします。個人的には丘山の南に住んでいるからかもしれませんが、丘山を越えると遠いなというイメージがあって、現在の中学校の跡地に建てられてはどうかと思っています。目の前にさとうとベルディーホールがあって、駐車場もたくさん取れそうで裏には日赤があります。まだ予定が決定されていないのであれば、それも一案として考えていただけたらと思います。

最後にシニア世代が田舎に移住するときに確認するように勧められる項目に交通機関の本数、医療機関の充実、趣味を楽しめるか、高齢者施設は整っているかなど、要するに利便性が高い地域を選びなさいと言われていています。正直なところ多可町だけではなく日本全体の問題ですけど、子どもはこの先どんどん減っていき

	<p>ます。それなら多可町は敬老の日発祥のまちということで、シニア世代になって体が思うように動かないけど、日赤でリハビリした後にお友達とカフェでおしゃべりして、帰りに本を借りて帰ろう。このエリア内ではカートが自由に乗り放題で、帰りはシニアバスが家の近くまで送ってくれるからなんていいと思います。これが実現すればいろんな世代の人がお互いの姿勢を見ることができて、そうすると子ども達は親や祖父母を労えるようにもなるだろうし、またシニア世代の方々若い世代を見て元気になれるし、こんなに年老いても楽しく暮らせる多可町なら、今私は女性会議の運営委員会の後の「たからもん」というグループに入れていただいているんですけど、そこでも移住を増やすことをみんなで取り組んでるんですけど、そんな多可町なら移住したいなって思う人もいるかもしれません。多可町の良さがすべて詰まったそんな施設になればいいなと思っています。</p>
<p>次第3</p>	<p>グループディスカッション</p> <p>(座長) 次、グループディスカッションを行います。今回は各々の班で前回まとめられた話を具体的に進めて行こうというところの話をさせていただきたい。前回お話をまとめられた分を各グループでどう実践するのか、やり方、実行そういったところを目指して話をさせていただけたらと思います。</p> <p>もしよければ、職員の方も場の中に入らせていただけたらと思います。</p> <p>ーグループディスカッションー</p> <p>(座長) それではグループディスカッションしていただいた話を発表してください。注意点として具体的にやることをまず1つは発表してください。それはプラザのこれからにとって非常に大切な事になってくると思います。班分けしているのは、その方々が発表した分に関しては、その人たちが中心になってやっていただきたいという思いがありますので、よろしく願います。もう1つそれとそれ以外の話として、こんなプラザになったらいいんじゃないのかという話もたくさん出たと思うんです。それも付け加えて話をさせていただいて結構かと思います。</p> <p>(A委員) まずこちらのグループは、第2回での意見の「利用者の意見を聞く」ということを具体的に進めていきたいなという話が出ました。町内のまちプラを利用されるであろう文化連盟のような団体をリスト化して、加入しておられる方にアンケートを取ったり、そもそも委員会の活動を町内の人に知ってもらわないといけないということでどんどん発信していく。その手段の1つとして広報たかで特集を組んでもらって、その時に町民の方々の意見をいただけるようなアンケートをそこに挟んで意見を出してもらおうということをする、色々な方の意見を聞けるのではないかとこのふうになりました。</p> <p>今後の「こういう施設になったらいいな」というところで、アスパル、ベルディー等を利用するいろんな団体がありますが、それぞれ頑張っているけれどつながりがない。人形劇の勉強会みたいなのをしてベルディーで人形劇をしてもらおうと思ってもそれが成立しないとか、それぞれの施設の規約みたいなものがあるって実現しなかったりします。そういう団体の横のつながりを作っていくようなことができれば、その利用も増えるし連携もできていく。その中心というかハブの役割をまち</p>

づくりプラザでできたらなと思っています。

今後、図書館を中心に考えているんですけど、図書館の概念を変える必要があると。静かじゃなくていい。知的好奇心を満たす場であるということ、今までの図書館と同じように考えるんじゃなくて、家族で来て一緒に過ごすのもいいんですけど、お母さんがバンド演奏して、お父さんが図書館で本を読んで、子どもはその間託児のところで楽しく遊んでてもらって、で一緒に帰る、で「今日楽しかったな」みたいなそういう施設になってもいいんじゃないかという話になりました。以上です。

(座長)

それではこちらのグループになりますけれど、F委員発表をお願いします。

(F委員)

やっぱり図書館や生涯学習施設というものがどんなものかということをもっと学んでいかなきゃいけないねという話が出ていました。やはり魅力的な講座や学びの機会があったらここに来て学んでみたいし、講座受けてみたいしと思うんだけど、現状はなかなかそういった機会が見つからないってところもあって、やっぱり講座運営みたいなどころを持続的に続けていけるような仕組みづくりは必要だねっていうような話も出ました。具体的に言うと、こういう講座を作りたいっていう人を募集したりとか、手をあげてもらってそこへ行政なりが補助をしていただいて、参加者からも当然参加費もいただきながら、講座を行う講師の方が赤字にならないように学びの場が提供できるっていう仕組みを作っていきたいねという話が出ていました。一方でやっぱり学びの人材は、地域の中でもたくさんの特技とかいろんなバックボーンを持った方がいらっしやると思う。そういった人材発掘も生涯学習まちづくりプラザができるに当たってしていかなきゃいけないねっていう話も出ています。あとは、ぶっちゃけ今生涯学習まちづくりプラザの委員を私たちさせてもらっているんですけど、皆さんの身の周りで生涯学習まちづくりプラザの話出てきますかみたいな話をしたんですけど、やっぱり身近で出てくることはそんなにないかな。それより中学校のこのの方が話題に出てくるよという話が出てきました。そういった意味では、一番大事なのは、生涯学習まちづくりプラザができることをPRしていくことで、例えば、たかTVで専用のコーナーを作ってもらって発信PRをしていこうとか、広報紙の中で情報を取りあげてもらおうとかいう話が出てきました。

一方で我々が検討していかなければいけない運営についてとか、生涯学習まちづくりについては、もっと町民の方のお話を聞かなければならないかと。小・中学生や高校生など、これからの将来を担う世代の子たちに将来多可町どうなってほしいか、まちづくりプラザができたらこんなことがしたいみたいなことは聞いていきたいねという話や、特に活発に利用する若者世代にガンガン使ってもらうためにはどういった設備が必要かとか、どういった機会が必要かっていうことと、シニアになってから活動していくっていう中でどういった場が必要かっていうことを聞いてみたいという話は出ましたが、どうやるかっていうところまでは話は出なかったんです。

ちょっと面白かったのは、やっぱり知らない人はたくさんいると。じゃあいっそまちづくり委員のメンバーが自治会に行って説明して意見交換してきたらいいんじゃないかっていうアイデアも出ました。これは実現するかどうかはまた別としてこういうやり方もあるかなという形で話をいたしました。今後についてのところ

	<p>は、やっぱりいかに立ち寄りやすい場所にするかというところの視点で、引き続きまちづくりプラザの運営とかあり方を考えていきたいねという話が出ました。</p> <p>(座長) ありがとうございます。お互いに似ているようで似てない部分もあって非常に面白いなと思います。最初に言いましたようにこれを実行に移すことが必要です。ただちょっと似たような話がありましたので、私の一存になりますけれども、例えばA委員のグループに関しては文化連盟もしくは若者のバンドのグループとか、この文化連盟に入られていないグループの方々に、どうアプローチをして、どのように活用していただくか、それをアンケートなりっていう形で具体的に動いていただくということでよろしいですか。責任者は発表されたA委員とこのグループの皆さんで協力しながら、あとは事務局と相談をしていながらそういったところの動きをA委員のグループはしていただくということでもいいですか。F委員のグループは、10月号からスペースが取っていただけるようになった広報紙の紙面について、こんなPRしたらとか、広報の文面を検討していただきたい。たかTVも11月からあったかインフォという番組でまちづくりプラザをPRしていくが決まっていますので、そのPR方法なんかも検討をお願いします。それに関してはF委員グループの方で責任を持って実行をしていただくという形でよろしいでしょうか。</p> <p>では、この2班に分かれながら、またお互いに交差しながら議論を高めたいと思います。以上で一応今回のお話は終わります。</p>
<p>次第4</p> <p>(座長)</p> <p>(事務局)</p> <p>(座長)</p> <p>(F委員)</p>	<p>その他</p> <p>図書館視察ということで10月25日の分を事務局のほうから説明をお願いします。</p> <p>失礼します。10月25日の図書館視察は、12時30分図書館集合出発となっておりますので、遅れないようによろしく願いいたします。次に、第4回の委員会は、11月に1度させていただきたいと思っております。まだ場所など今から検討します。</p> <p>第4回の委員会の日程に関してはまだ検討中です。内容に関しては、図書館協会の方々令和4年の7月に多可町図書館基本計画についてです。その中で私が気になったのは、新しい多可町図書館の理念、従来の図書館像からの脱皮をというところなんですけども、この点に関して図書館協会の方、または図書館の職員の方からお話をいただければと思います。またB委員様とご相談しながら調整をさせていただきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。その後グループディスカッションを行う予定です。12月には、第5回の委員会の予定です。第5回の委員会はシンポジウム的なもので、岡本真氏の講演会を予定しています。平日の16時ということでご無理な方も多いかと思いますけど、例えばDVDや配信など何らかの形で見ていただけるように考えます。一般の参加もしていただけるような形をしたいと思っております。これに関して付け足してF委員から何かあればお願いします。</p> <p>岡本真さんの講演会については、私の方で調整をさせていただいております。基本的には1時間程度の講演の後に、皆さんと意見交換する時間を作りたいなと思って</p>

	<p>います。今私たちがミッションとして与えられているところの部分のお話をちょっと聞こうかなと思います。具体的には図書館生涯学習施設の運営だったり、これから新しい施設を作っていくプロセスのあり方ってというのはどういったものなのかということのお話を伺うのと、あと1つは住民参画による運営のあり方についてどういう方法が考えられるのか、どういうふうに検討していけばいいのかということのお話を伺えればと思います。今後いろいろ検討していくに当たっての疑問とかお話を聞いていただければと思います。</p>
(座長)	<p>ありがとうございました。これで今日の委員会は終わります。</p>
(G委員)	<p>講演会の岡本さんの話ですけれども、どうして岡本さんを招聘される結果となったんでしょうか。</p>
(F委員)	<p>岡本さんが関わられているのは図書館プラス生涯学習施設のようなもの、市民交流センターのような複合施設の建設のアドバイザーであり、実際建設の設計の取りまとめに関わられていたりなど、いろいろな側面で岡本さんのやられている会社アカデミック・リソース・ガイドさんが関わられています。多可町の生涯学習まちづくりプラザの検討に当たっても参考となる事例だったり、今我々が委員会として活動している中で悩んでいる部分に最適なアドバイスがいただけるんじゃないかと思ひまして、岡本さんをお願いすることを前回の委員会でも提案させていただいて、事務局とも話しながら進めているところです。</p>
(事務局)	<p>私たちもどこの施設を見せていただいたらいいのかということが、ちょっとよく分からなくて、探っているようなところです。近くにもそういう活動をされているところもありますので、ぜひそういう情報を教えていただけたらと思います。</p>
(座長)	<p>まだ、岡本さんとどういう内容のシンポジウムをメインとして話をするかは決まっていってないですが、生涯学習まちづくりプラザ、生涯学習から通じるまちづくり、そういったところのお話を中心に聞かせてほしいという依頼を私の方からはする予定にしています。</p>
(G委員)	<p>その講演を聴くまでに、この委員会は何をゴールにしている、それに至るのにどういう工程を踏んでいくのかを考えた上で聴くと、我々の疑問を岡本先生が埋めてくださるのかなと思うんですが、ちょっと時間が無さ過ぎると思う。もう少し回数を増やすとか議論していかないと不安なところがあるので、ご検討いただければと思います。</p>
(座長)	<p>この委員会の最終的な目的は設置要綱に書いてあるとおりです。生涯学習を通じたまちづくりの推進に関する事、まちづくりプラザの運営・検討に関する事、これをどう考えていくか決めていくかがこの委員会の目的です。ただ、まだこれにスケジュールが入ってきてない、追いついてきてない。G委員のご意見を真摯に受け止めて、今後に生かしたいと思います。</p>
次第5	<p>閉会</p>

(副座長)	副座長あいさつ
-------	---------